

登録No.
登録名
催吐性リスク
適応疾患
投与スケジュール

S-123
Phesgo/Eribulin療法
軽度
乳癌

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	フェスゴ	初回 IN/body 2回目以降 MA/body		d1	S.C	初回8min以上 2回目以降5min以上	初回は30分間経過観察 忍容性良好なら2回目以降15分経過観察 大腿部のみに投与。前回の部位から少なくとも2.5cm離れた場所に投与
Rp.3	デキサメタゾン 生食	6.6mg/body 50mL/body		d1・d8	d.i.v.	30 min	
Rp.4	エリブリン 生食	1.4mg/m ² 50mL/body		d1・d8	d.i.v.	5min	5%ブドウ糖禁 投与時間30分以内まで可
Rp.5	生食	50mL/body		d1・d8	d.i.v.	全開	フラッシュ用

1クールの期間
標準クール数
最大クール数
休薬期間の規定
投与間隔短縮の規定
その他
(副作用・PS規定等)

3週間
PDまで

注意： Phesgoが前回の投与日から6週間以上空いた時は、改めて初回投与量で投与。
エリブリンはアントラサイクリン系及びタキサン系抗悪性腫瘍剤を含む治療施行後の増悪。
若しくは再発に使用。またエタノールを含有しているためアレルギーに注意。

副作用： infusion reaction、発疹、注射部位反応、心不全、
骨髄抑制、FN、口内炎、味覚異常、下痢、脱毛、末梢神経障害、肝機能障害、間質性肺炎

延期・減量基準:	延期	1週目	2週目	減量
好中球		1000未満	1000未満	7日以上500未満、発熱性好中球減少（1000未満）
血小板		7.5万未満	7.5万未満	2.5万未満、輸血必要（5万未満）
AST/ALT		基準値×2.5以上	基準値×2.5以	Grade3以上
T-Bil		基準値×1.5以上	基準値×1.5以	2週目休薬したとき

LVEF≥50%でベースラインからのLVEF低下>20%→投与継続（3週間以内にLVEF再評価）

LVE<50%でベースラインからのLVEF低下<10%→投与継続（3週間以内にLVEF再評価）

LVE<50%でベースラインからのLVEF低下≥10%→投与延期（3週間以内にLVEF再評価）

→再評価後LVE<50%でベースラインからのLVEF低下≥10%→中止

減量方法: エリブリン 1.4mg/m²→1.1mg/m²
1.1mg/m²→0.7mg/m²
0.7mg/m²→中止を考慮